



歯っぴー通信



2021年
4月

KIDA DENTAL CLINIC 喜田歯科医院

歯は抜けたまま放置せず、治療と予防をしましょう

歯を抜けたままを放置すると...

○見た目が悪い

歯並びのバランスが悪くなるため、笑ったときの見た目が損なわれてしまいます。

○歯ぐきが痩せ、顔が変形する

噛む力が衰える為、顔の筋力が低下します。しわやたるみが増えるだけでなく、ほほが下がるため、老け顔になってしまう可能性があります。

○胃腸への負担がかかる

食べ物をよく噛み砕かずに飲み込むため、消化器官に負担がかかります。

○噛み合わせが悪くなる

抜けた歯の両隣の歯が移動したり、傾いたりするので噛み合わせが悪くなります。



○うまく発音できない

歯の隙間から空気が抜ける事で、会話(発音)がしづらくなり、発音障害になる可能性があります。

○歯並びが悪くなる

抜けた歯と咬んでいた歯が、今まであった歯に咬み合わおうとして、伸び出てしまうことがあります。

○全身のバランスに悪影響を及ぼす

噛み合わせが悪いとあごの筋肉に負担がかかったり、位置がずれたりします。あごの位置がずれると、首・肩・腰の位置がずれ、肩こりに影響します。

○脳の活性化に影響

噛む力が衰えることにより、脳への刺激が低下し、認知症の原因となります。

歯を失わないための予防が大切

現在、歯を失う原因の多くは、歯周病です。歯周病で歯を失わないためには、丁寧なセルフケアと、こまめに歯科医院にチェックに来て頂くことが大切です。当院の定期健診を受けて下さい。



喜田歯科医院

吹田市原町4丁目23-4

06-6388-1900



QRコードからHPをご覧下さい

歯を失った後の治療が大切

1本や2本、歯がないからといって、すぐに影響が起こるわけではありませんが、歯がないまま放置しておくことによって、噛み合わせが崩れ、将来的に多くの歯を失ってしまう可能性があります。



現在では、歯が抜けてしまったとしても、入れ歯やインプラントなど、歯が抜けてしまった場合の治療方法があります。トラブルを抱えない為にも、歯を抜いてしまった後は放置せずしっかりと最後まで

『おくちポカーン』 口唇閉鎖不全症は予防する時代です

口唇を閉じる力を測定する器械
『りっぷるくん』
[測定方法 対象年齢3歳～15歳]



患者様の鼻の下付近にLEDを照射された状態を保ちながら測定を行います。測定結果により、口唇の力が平均値より弱いと判断された場合はお口の周りの筋肉を鍛える簡単なトレーニングがあります。当院ではメンテナンスの一貫として受診することができます。

お口の周りの筋肉を鍛える
トレーニング器具
『りっぷるとれなー』



小さなお子様や高齢者の方でも安全にトレーニングできる誤飲防止ストッパーがついています。りっぷるとれなーを使ってお口の周りの筋肉をつけ、改善して行きましょう。税込330円で販売しております。購入時には使用方法とトレーニング内容を説明させて頂きます。次回の5月号の院内新聞は大人の口腔機能についてです。